

「その他の死因」について

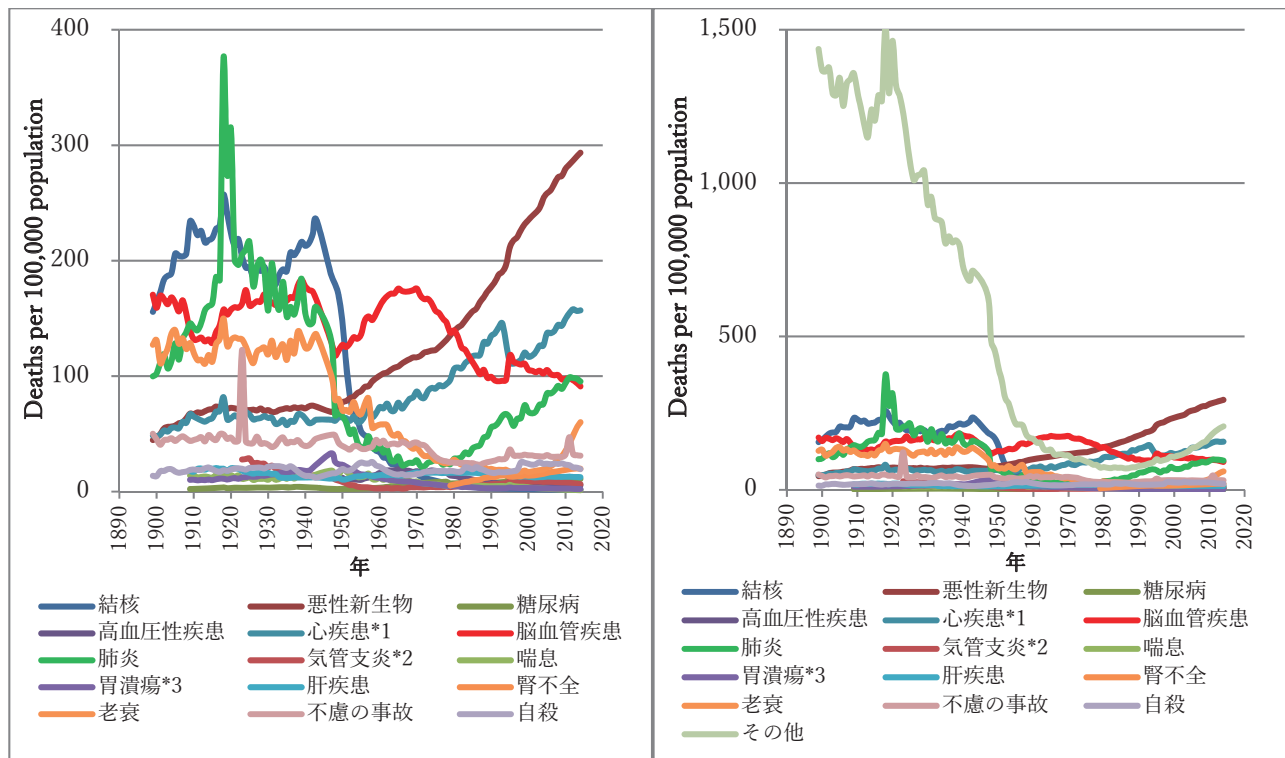
The structure of “other causes of death”

林 玲子

1. はじめに

我が国は 1899 年より人口動態統計のなかで死因別死亡統計が集計・公表されており、死因年次推移分類別にみると 1950 年を境にして結核、肺炎など感染性疾患が中心であった死因構造が、脳血管疾患、悪性新生物、心疾患といった慢性疾患に転換したことなど、多くの情報の蓄積がある（図 1 左）。しかしながらこの死因年次推移分類は、第 1 回から第 10 回まで改訂を重ねている国際疾病分類に基づいて作成される異なった死因分類から、主要な死因を取り出したものであり、死因年次推移分類に含まれない疾病による死亡率を「その他の死因」として合わせて示すと、図 1 右に示すように、「その他の死因」が戦前では非常に多く、また 1980 年代にかけて減少してきたものの、その後少しずつ増加している（数値は付表 1）。

図 1 死因別死亡率の推移（死因年次推移分類別）



出典) 厚生労働省『人口動態統計』

長期的死因の動向は、現在当プロジェクト（「長寿化・高齢化の総合的分析及びそれらが社会保障等の経済社会構造に及ぼす人口学的影響に関する研究」）で、フランス MODICOD プロジェクトと連携しながら、特に ICD9 と ICD10 の接続について詳細な分析が行われているが（是川 2015； 大津・是川・石井 2016）、ここでは、死因全体の中で、無視できない程度の「その他の死因」の構成がどのように変化してきたか、20 世紀の全期間、1900 年から現在にいたる期間においてその変遷を追うこととする。

II. 方法

2014 年の人口動態統計において「死因年次推移分類」に採択されているのは、結核、悪性新生物、糖尿病、高血圧性疾患、心疾患、脳血管疾患、肺炎、慢性気管支炎及び肺気腫、喘息、胃潰瘍及び十二指腸潰瘍、肝疾患、腎不全、老衰、不慮の事故、交通事故（再掲）、自殺の 16 種類である。1899 年の死因統計から現在まで、それぞれ第 1 回から第 10 回国際疾病・死因分類（ICD）に対応した分類で死因が公表されているので、各年の死因分類番号と死因年次推移分類との対応表に基づき、それ以外の死因を「その他の死因」として、抽出した。死因統計は、（一財）厚生労働統計協会「人口動態統計時系列データ（1899～2012 年）」を用い、1900 年から 2010 年までの 10 年毎に、計 12 年分のデータを分析した。

III. 結果

「その他の死因」の割合は、1990 年で全死因の 20% と一番少なくなるが、それ以前、それ以降に、1990 年から離れるほど割合が大きくなる（表 1）。

表 1 「その他の死因」の推移と割合

		1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010
死亡数	全死因	910,744	1,064,234	1,422,096	1,170,867	1,186,595	904,876	706,599	712,962	722,801	820,305	961,653	1,197,012
	その他	599,701	639,254	819,405	599,704	524,923	334,622	154,937	115,502	86,371	95,828	135,433	217,697
死亡率	全死因	2,077.1	2,163.8	2,541.1	1,816.7	1,649.6	1,087.6	756.4	691.4	621.4	668.4	765.6	947.1
	その他	1,367.7	1,343.5	1,512.7	995.9	791.5	478.1	226.4	174.2	132.3	136.1	164.4	232.6
その他%		66%	62%	60%	55%	48%	44%	30%	25%	21%	20%	21%	25%

注) 死亡数は人、死亡率は人口十万人対

出典) 厚生労働省「人口動態統計」2014 年

1900 年から 2010 年までの「その他の死因」の内訳を、死亡数が多い死因順に付表 2 に示した。「その他の死因」が一番少なくなる 1990 年より後において、一番多い「その他の死因」は、「その他の呼吸器系の疾患」、「その他の消化器系の疾患」、「神経系の疾患」であ

り、いずれも 2000 年から 2010 年にかけて大きく増加している。一方、1990 年より前を見ると、1950 年、1960 年、1970 年において「その他すべての疾患」が「その他の死因」の中で一番多い。しかしその中でも、1950 年、1960 年では、「胃炎、十二指腸炎、腸炎及び大腸炎（新生児下痢を除く）」が第二の「その他の死因」、「腎炎及びネフローゼ」が第四の「その他の死因」となっている。さらに戦前についてみると、「乳児固有の疾患」、「下痢及び腸炎」といった死因がそれぞれ 1940 年、1910～1930 年の第 1 位の「その他の死因」となっている。1920 年の第二の「その他の死因」である流行性感冒は、当時大流行したスペイン・インフルエンザによるものであるが（速水 2004）、それ以外にも「脳膜炎」が上位の死因であるのが目に留まる。

つまり、死因年次推移分類に計上されない死因は、すべてが「死因不明」であるわけではなく、戦前、1950～1970 年代、1980～1990 年代、2000 年以降と、「その他の死因」の内訳は質的に変化していることが伺われる。

今回「その他の死因」を選んだ基準は、2014 年の人口動態統計で用いられている死因年次推移分類であり、その定義は、1995 年の人口動態統計報告書から採択されているものである。したがって、1995 年当時の死因構造をもとに死因年次推移分類を構成したと考えられ、そのため 1990 年から時間的に離れるほど、死因年次推移分類に含まれない死因が増えるのではないと思われる。また 1995 年に採択された ICD10 に基づき死因年次推移分類を変更しているので、例えば腎不全は 1970 年以前の数値がなく、胃腸炎という分類もなくなっている。この部分が「その他の死因」に振り替えられ、その分「その他の死因」が増えている。「その他の死因」の多寡は、分類の仕方により左右されているということである。

IV. 結論

我が国の人口動態統計による死因が得られる期間内（1899 年～現在）で死因別死亡構造の変遷を見るには、共通した死因分類が必要であるが、100 余年の期間を等しくカバーするような死因年次推移分類を設定することは難しい。現在用いられている分類は 1995 年の ICD10 改定により再構成されたもので、それ以降、それ以前の状況を反映しづらくなっている。定期的に死因年次推移分類を改定すること、全期間の主要な死因をすべてカバーするように分類項目数を増やすこと、といった対応も可能であるが、死因を複数の属性でとらえ、それにより複数の死因年次推移分類を設定し、全体を俯瞰することも一つの方法であろう。そのような複数属性を取り入れた SNOMED といった保健医療用語システムも存在しており、そのような情報基盤が、死因の長期的変遷の理解に適用可能であるか今後検討したい。

疾病・死因分類は医学の進歩とともに変化するものなので、国際分類が提示された当初から 10 年毎の改定がなされるべきとされていた（Bertillon 1903）。したがって、異なる版の疾病・死因分類を統合すること自体が本来想定されていないともいえる。しかし例えば根絶された天

然痘など多くの感染症では、過去の死亡は現在と比較する必要もないが、高齢者の死亡が増えてくると、過去の「老衰」と現在の「老衰」の比較など、長期的な分類のマッチングが意味をもつこともあるだろう。本稿では年齢別の分析を行っていないが、それも今後の課題である。

文献

大津唯・是川夕・石井太（2016）「わが国における長期時系列死因別死亡統計の構築に向けて」『長寿化・高齢化の総合的分析及びそれらが社会保障等の経済社会構造に及ぼす人口学的影響に関する研究 第2報告書』国立社会保障人口問題研究所、pp.99-107

是川夕（2015）「死因別死亡から見たわが国の高齢化について死因別に見た長期時系列データの必要性について」『長寿化・高齢化の総合的分析及びそれらが社会保障等の経済社会構造に及ぼす人口学的影響に関する研究 第1報告書』国立社会保障人口問題研究所、pp.29-42

速水融，小嶋美代子（2004）『大正デモグラフィ 歴史人口学で見た狭間の時代』文藝春秋
Bertillon, Jacques (1903) *Nomenclatures des maladies* Imprimerie Typographique de l'Ecole d'Alembert

付表 1 死因年次推移分類別死亡数・率の推移

a. 死亡数 (人)

	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010
死因												
全死因	910,744	1,064,234	1,422,096	1,170,867	1,186,595	904,876	706,599	712,962	722,801	820,305	961,653	1,197,012
Hi01 結核	71,771	113,203	125,165	119,635	153,154	121,769	31,959	15,899	6,439	3,664	2,656	2,129
Hi02 悪性新生物	20,334	32,998	40,648	45,488	51,879	64,428	93,773	119,977	161,764	217,413	295,484	353,499
Hi03 糖尿病		1,089	1,725	2,247	2,762	2,034	3,195	7,642	8,504	9,470	12,303	14,422
Hi04 高血圧性疾患						9,935	15,115	18,303	15,911	9,246	6,063	6,760
Hi05 心疾患 (高血圧性を除く)	21,107	31,976	35,540	41,138	45,542	53,377	68,400	89,411	123,505	165,478	146,741	189,360
Hi06 脳血管疾患	69,799	64,888	88,186	104,942	127,847	105,728	150,109	181,315	162,317	121,944	132,529	123,461
Hi07 肺炎	44,853	69,888	175,674	101,046	111,077	54,169	37,534	27,929	33,051	68,194	86,938	118,888
Hi08 慢性気管支炎及び肺気腫				13,529	10,667	7,055	2,664	3,970	5,100	7,834	10,877	9,929
Hi09 喘息		6,880	7,933	6,651	9,172	16,233	11,221	9,113	6,370	5,947	4,473	2,065
Hi10 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍		5,079	6,245	9,190	12,923	19,323	11,057	7,997	5,530	3,615	3,869	3,233
Hi11 肝疾患		8,481	11,279	10,469	8,824	8,630	13,389	17,097	18,978	19,700	16,079	16,216
Hi12 腎不全									7,048	15,575	17,260	23,725
Hi13 老衰	57,442	59,117	73,468	76,591	89,540	58,412	54,139	39,277	32,154	24,187	21,213	45,342
Hi14 不慮の事故	19,874	22,009	26,198	26,295	28,408	32,850	38,964	43,802	29,217	32,122	39,484	40,732
Hi15 (再掲) 交通事故						7,542	17,757	24,096	13,302	15,828	12,857	7,222
Hi16 自殺	5,863	9,372	10,630	13,942	9,877	16,311	20,143	15,728	20,542	20,088	30,251	29,554
その他の死因	599,701	639,254	819,405	599,704	524,923	334,622	154,937	115,502	86,371	95,828	135,433	217,697

b. 死亡率（人口十万人対）

	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010
死因												
全死因	2,077.1	2,163.8	2,541.1	1,816.7	1,649.6	1,087.6	756.4	691.4	621.4	668.4	765.6	947.1
Hi01 結核	163.7	230.2	223.7	185.6	212.9	146.4	34.2	15.4	5.5	3.0	2.1	1.7
Hi02 悪性新生物	46.4	67.1	72.6	70.6	72.1	77.4	100.4	116.3	139.1	177.2	235.2	279.7
Hi03 糖尿病		2.2	3.1	3.5	3.8	2.4	3.4	7.4	7.3	7.7	9.8	11.4
Hi04 高血圧性疾患						11.9	16.2	17.7	13.7	7.5	4.8	5.3
Hi05 心疾患（高血圧性を除く）	48.1	65.0	63.5	63.8	63.3	64.2	73.2	86.7	106.2	134.8	116.8	149.8
Hi06 脳血管疾患	159.2	131.9	157.6	162.8	177.7	127.1	160.7	175.8	139.5	99.4	105.5	97.7
Hi07 肺炎	102.3	142.1	313.9	156.8	154.4	65.1	40.2	27.1	28.4	55.6	69.2	94.1
Hi08 慢性気管支炎及び肺気腫				21.0	14.8	8.5	2.9	3.8	4.4	6.4	8.7	7.9
Hi09 喘息		14.0	14.2	10.3	12.8	19.5	12.0	8.8	5.5	4.8	3.6	1.6
Hi10 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍		10.3	11.2	14.3	18.0	23.2	11.8	7.8	4.8	2.9	3.1	2.6
Hi11 肝疾患		17.2	20.2	16.2	12.3	10.4	14.3	16.6	16.3	16.1	12.8	12.8
Hi12 腎不全									6.1	12.7	13.7	18.8
Hi13 老衰	131.0	120.2	131.3	118.8	124.5	70.2	58.0	38.1	27.6	19.7	16.9	35.9
Hi14 不慮の事故	45.3	44.7	46.8	40.8	39.5	39.5	41.7	42.5	25.1	26.2	31.4	32.2
Hi15（再掲）交通事故						9.1	19.0	23.4	11.4	12.9	10.2	5.7
Hi16 自殺	13.4	19.1	19.0	21.6	13.7	19.6	21.6	15.3	17.7	16.4	24.1	23.4
その他の死因	1,367.7	1,343.5	1,512.7	995.9	791.5	478.1	226.4	174.2	132.3	136.1	164.4	232.6

出典) 厚生労働省「人口動態統計」2014年

付表2 「その他の死因」による死亡数(人)

code	2010年	(人)
10600	その他の呼吸器系の疾患	49,621
11400	その他の消化器系の疾患	20,069
06000	神経系の疾患	19,429
09400	大動脈瘤及び解離	15,209
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,857
01300	敗血症	10,676
02200	その他の新生物	10,142
05000	精神及び行動の障害	8,049
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	7,262
09500	その他の循環器系の疾患	7,092
11200	ヘルニア及び腸閉塞	5,985
01400	ウイルス肝炎	5,614
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5,606
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	5,269
20400	その他の外因	5,242
01600	その他の感染症及び寄生虫症	5,070
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,336
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3,880
01100	腸管感染症	2,313
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	2,194
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1,319
16000	周産期に発生した病態	639
10300	急性気管支炎	581
20300	他殺	437
10100	インフルエンザ	161
18200	乳幼児突然死症候群	147
01500	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	61
15000	妊娠、分娩及び産じょく	49
08000	耳及び乳様突起の疾患	19
07000	眼及び付属器の疾患	5
	その他 計	211,333
	死亡総数	1,197,012

code	2000年	(人)
10600	その他の呼吸器系の疾患	28,281
11400	その他の消化器系の疾患	13,853
06000	神経系の疾患	9,567
02200	その他の新生物	9,005
09400	大動脈瘤及び解離	8,214
01300	敗血症	6,216
01400	ウイルス肝炎	5,121
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,972
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	4,807
09500	その他の循環器系の疾患	4,791
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4,603
11200	ヘルニア及び腸閉塞	4,467
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	4,419
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,057
05000	精神及び行動の障害	3,920
20400	その他の外因	3,302
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	2,702
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	2,604
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	2,113
10300	急性気管支炎	1,393
01100	腸管感染症	1,212
16000	周産期に発生した病態	1,125
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	854
20300	他殺	768
10100	インフルエンザ	575
18200	乳幼児突然死症候群	363
15000	妊娠、分娩及び産じょく	84
01500	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	50
08000	耳及び乳様突起の疾患	19
07000	眼及び付属器の疾患	12
	その他 計	133,469
	死亡総数	961,653

code	1990年	(人)
53	その他	126,141
43	先天性奇形染色体異常	3,571
44	周産期に発生した病態	1,794
1	ウイルス肝炎	1,194
40	虫垂炎	95
	その他 計	132,795
	死亡総数	820,305

code	1980年	(人)
53	その他	116,515
44	周産期に発生した病態	5,793
43	先天性奇形染色体異常	4,885
1	ウイルス肝炎	1,098
40	虫垂炎	220
	その他 計	128,511
	死亡総数	722,801

code	1970年	(人)
B46	その他の疾患 G その他	24,938
B45	診断名不明確 B その他	11,333
B38	腎炎、ネフローゼ	9,188
B44	その他の周産期の死因	8,880
B46	C その他の循環器	5,886
B42	先天異常	5,828
B20	良性新生物	5,801
B4	腸炎及び下痢症	4,691
B46	B 中枢神経系の疾	4,338
B46	E 胃・十二指腸炎	3,896
B43	出生時損傷	3,757
B31	インフルエンザ	3,707
B46	A 精神障害	3,467
B36	ヘルニア	3,109
B46	D 急性気管支炎	2,895
BE50	他殺	2,539
B18	その他の伝染性疾患	2,255
B23	貧血	1,616
B41	妊娠の合併症	967
B24	髄膜炎	861
B17	梅毒・続発症	660
B39	前立腺肥大症	637
B22	栄養欠乏症	598
B35	虫垂炎	572
B14	麻疹	556
B25	リュウマチ熱	523
B3	細菌性赤痢・アメーバ症	51
B40	流産	41
B11	髄膜炎菌感染	18
B12	急性灰白髄炎	11
B8	ジフテリア	6
B9	百日咳	5
B16	マラリア	4
B2	腸チフス	3
B10	レンサ球菌性・猩紅熱	3
B15	チフス、リケッチア	1
B1	コレラ	0
B7	ペスト	0
B13	痘瘡	0
	その他 計	113,641
	死亡総数	712,962

code	1960年	(人)
B46	その他すべての疾患	57,305
B36	胃炎、十二指腸炎、腸炎及び大腸炎（新生児下痢を除く）	19,261
B44	その他の乳児固有の疾患及び性質不明の未熟児	17,279
B38	腎炎及びネフローゼ	15,429
b	その他の診断名不明確及び不明の原因	14,803
B32	気管支炎	8,511
B19	良性及び性質不詳の新生物	4,723
B35	腸閉塞及びヘルニア	4,314
B17	伝染病及び寄生虫として分類されたその他の疾患	4,273
B41	先天奇形	4,231
B30	インフルエンザ	4,012
B42	出生時の損傷、分娩後窒息及び肺不全拡張	2,494
B40	妊娠、分娩及び産褥の合併症	2,097
B3	梅毒及びその続発症	2,068
B6	赤痢	2,048
BE50	他殺及び戦争行為	1,782
B21	貧血	1,420
B14	麻疹	1,346
B23	髄膜炎（髄膜炎菌性及び結核性を除く）	1,249
B24	リュウマチ熱	1,120
B34	虫垂炎	1,020
b	新生児下痢	530
B8	ジフテリア	497
B39	前立腺肥大症	420
c	その他の新生児の感染	326
B12	急性灰白髄炎	317
B10	髄膜炎菌感染	112
B9	百日咳	65
B4	腸チフス	39
B7	猩紅熱及び連鎖球菌性口峽炎	23
B16	マラリア	10
B15	発疹チフス及びその他のリケッチア病	9
B5	コレラ	0
B11	ペスト	0
B13	痘瘡	0
	その他 計	173,133
	死亡総数	706,599

code	1950年	(人)
e	その他すべての疾患	70,574
B36	胃炎、十二指腸炎、腸炎及び大腸炎	65,894
B44	その他の乳児固有の疾患及び性質不明の未熟児	51,787
B38	腎炎及びネフローゼ	26,978
B32	気管支炎	23,396
a	診断名不適當の状態	19,564
b	その他の脳性麻痺	17,308
B17	伝染病及び寄生虫として分類されたその他の疾患	13,725
B6	赤痢	11,968
B9	百日咳	8,426
B41	先天奇形	6,691
B23	髄膜炎（髄膜炎菌性及び結核性を除く）	6,657
B35	腸閉塞及びヘルニア	6,457
B3	梅毒及びその続発症	5,176
d	胆石症並びに胆嚢及び胆管の疾患	5,012
B19	良性及び性質不詳の新生物	4,433
B40	妊娠、分娩及び産褥の合併症	4,117
a	脚気	3,969
B14	麻疹	3,745
B34	虫垂炎	3,038
c	膿胸及び肺炎	2,771
b	新生児下痢	2,646
B42	出生時の損傷、分娩後窒息及び肺不全拡張	2,462
BE50	他殺及び戦争行為	1,918
B30	インフルエンザ	1,250
B21	貧血	1,242
d	蛋白尿及び尿毒症	1,234
B8	ジフテリア	1,182
B24	リュウマチ熱	960
B12	急性灰白髄炎	775
c	その他の未熟児の記載のない新生児感染	733
B4	腸チフス	630
B10	髄膜炎菌感染	367
g	不明の原因	358
B39	前立腺肥大症	220
B15	発疹チフス及びその他のリッケチア病	105
b	瀕死	92
d	その他の未熟児の記載のある新生児感染	79
B16	マラリア	73
f	発見死体（原因不明）	68
c	2才以上の下痢	53
B7	猩紅熱及び連鎖球菌性口峽炎	35
B13	痘瘡	2
B5	コレラ	0
B11	ペスト	0
	その他計	378,170
	死亡総数	904,876

code	1940年	(人)
	乳児固有の疾患	68,407
	泌尿生殖器ノ疾患	59,773
120	下痢、腸炎及び腸潰瘍（2歳以上）	59,155
119	下痢及び腸炎（2歳未満）	49,212
	不明の診断及び不詳の原因	33,061
79	髄膜炎 結核性を除く	31,609
13	赤痢および疫痢	22,032
110	肋膜炎	20,059
129	原因不明の腹膜炎	19,096
118	その他の胃の疾患	14,771
36	膿毒症及敗血症	9,469
9	百日咳	8,792
	(ハ) 急性、慢性の別不明のもの	8,070
61	脚気	7,186
1	腸チフス	7,117
122	脱腸及び腸管閉塞	5,734
7	麻疹	5,101
	(出産関係)	5,070
	(イ) 急性	4,782
97	動脈硬化(冠状動脈を除く)	4,758
10	ジフテリア	4,744
78	脳炎 流行性を除く	4,574
84	早発性癡呆、その他の精神病	4,092
34	微毒	3,523
	先天性奇形	3,507
114	その他の呼吸器疾患	3,191
11	流行性感冒	3,164
69	その他の全身病	3,098
83	麻痺性癡呆	3,012
	皮膚及皮下結締組織ノ疾患	2,844
86	幼児の搐搦（5歳未満）	2,755
15	丹毒	2,618
121	虫様突起炎	2,577
127	その他の胆嚢及び胆道の疾患	2,547
87	その他の神経の疾患	2,522
126	膽石	2,268
81	その他の脊髄の疾患	2,158
115	口腔及其の付属器、咽喉頭及扁桃腺の疾患	2,115
55	悪性良性の別不明の腫瘍	2,076
	骨及運動器ノ疾患	1,854
22	破傷風	1,841
111	肺嚢腫、肺浮腫及肺楔状出血	1,246
85	癩癧 てんかん	1,132
57	慢性リュウマチス及骨関節炎	1,044
39	その他の寄生原虫による疾患	1,022
	1000人以下の死因計	15,587
	その他計	524,365
	死亡総数	1,186,595

code	1930年	(人)
32	下痢及び腸炎	142,583
	その他(糖尿病以外)	120,518
40	奇形の先天性弱質及び乳児に固有の疾患	75,102
36	腎臓炎	63,435
23	脳膜炎	47,532
50	不明の診断及び不詳の診断	41,171
29	その他の呼吸器の疾患	30,034
31	胃の疾患	22,917
13	その他の流行病及び地方病	21,095
26	急性気管支炎	14,344
1	腸チフス及びバラチフス	8,723
8	百日咳	7,437
6	麻疹	5,965
10	流行性感冒	5,207
34	脱腸及び腸管閉塞	4,830
9	ジフテリア	4,079
39	その他の妊娠及び産に因する疾患	4,034
33	虫様突起炎及び盲腸炎	2,598
37	女子生殖器の良性腫瘍及びその他の疾患	1,747
38	産褥熱	1,647
7	猩紅熱	303
12	霍乱	90
4	マラリア	60
5	痘瘡	4
11	コレラ	2
3	発疹チフス	1
	その他 計	625,458
	死亡総数	1,170,867

code	1920年	(人)
40	下痢及び腸炎	142,091
9	流行性感冒	108,428
60	不明の診断	69,495
29	脳膜炎	69,207
54	奇形及び先天性弱質	66,587
48	腎臓炎及びブライト氏病	55,546
39	胃の疾患	32,009
38	その他の呼吸器の疾患	29,989
32	その他の神経系の疾患	27,915
47	腹膜炎(産に因するものを除く)	20,861
35	急性気管支炎	20,165
19	その他の伝染性病	18,085
46	その他の消化器の疾患	16,361
24	脚気	14,239
1	腸チフス	12,890
55	幼児に固有なる疾患	11,141
53	皮膚及び目の疾患	8,972
18	梅毒	8,910
31	妊娠、産に因せざる子癩及び小児のちく搦	8,213
7	百日咳	7,922
5	麻疹	7,502
44	脱腸及び腸管閉塞	5,522
52	その他の妊娠及び産に因する疾患	4,460
61	原因不詳	4,404
8	ジフテリア	3,827
11	赤痢	3,742
10	コレラ	3,426
26	その他の栄養変調疾患	3,271
50	婦人生殖器の疾患	3,201
51	産褥熱	2,698
49	その他の泌尿器及び男子生殖器の疾患	2,636
43	虫様垂炎及腸骨窩蜂巣炎	2,624
23	リウマチ	2,369
17	癩病	1,118
4	痘瘡	729
27	その他の全身病	688
42	十二指腸虫病	659
28	急性及び慢性アルコール中毒	448
3	マラリア	243
41	霍乱	187
6	猩紅熱	102
20	二口虫病	89
12	ペスト	14
2	発疹チフス	3
	その他 計	802,988
	死亡総数	1,422,096

code	1910年	(人)
40	下痢及び腸炎	104,086
29	脳膜炎	69,831
60	不明の診断	58,242
54	奇形及び先天性弱質	53,751
39	胃の疾患	51,914
35	急性気管支炎	45,003
32	その他の神経系の疾患	34,563
48	腎臓炎及びブライト氏病	26,603
38	その他の呼吸器の疾患	26,392
47	腹膜炎（産に因するものを除く）	18,562
46	その他の消化器の疾患	16,467
31	妊娠、産に因せざる子癩及び小児のちく擗	13,629
19	その他の伝染性病	10,341
18	梅毒	10,160
24	脚気	9,598
61	原因不詳	8,763
11	赤痢	8,223
1	腸チフス	8,053
55	幼児に固有なる疾患	7,683
53	皮膚及びびの疾患	7,479
26	その他の栄養変調疾患	6,290
8	ジフテリア	5,435
50	婦人生殖器の疾患	4,779
7	百日咳	4,115
44	脱腸及び腸管閉塞	3,786
52	その他の妊娠及び産に因する疾患	3,672
49	その他の泌尿器及び男子生殖器の疾患	3,585
23	リウマチ	2,991
5	麻疹	2,707
9	流行性感冒	2,641
51	産褥熱	2,556
43	虫様垂炎及腸骨窩蜂巣織炎	2,026
10	コレラ	1,656
17	癩病	1,585
42	十二指腸虫病	1,061
41	霍乱	864
3	マラリア	627
6	猩紅熱	488
27	その他の全身病	430
28	急性及び慢性アルコール中毒	249
20	二口虫病	190
12	ペスト	22
4	痘瘡	15
2	発疹チフス	1
	その他 計	641,114
	死亡総数	1,064,234

code	1900年	(人)
45	不明の疾患	113,692
29	胃の疾患	62,553
20	脳膜炎	61,071
30	下痢及腸炎	58,664
25	急性気管支炎	42,801
38	先天性弱質及畸形	40,311
44	以上列記以外の疾患	36,402
28	その他の呼吸器病	26,141
23	播瘧、子瘡（妊娠及産に因せざる）	24,706
33	腹膜炎	19,339
22	その他の神経系疾患	16,937
16	その他の伝染病及び伝染性劇変	13,448
34	腎臓炎及びブライト氏病	13,134
11	赤痢	10,545
19	脚気	6,500
8	ジフテリア	6,017
35	婦人生殖器	5,959
1	腸チフス	5,549
9	流行性感冒	5,192
46	死因不明	5,007
37	妊娠及び産	4,521
31	脱腸、腸管壅塞	1,798
5	麻疹	1,740
36	産褥熱	1,679
32	肝臓硬化	1,674
7	百日咳	1,456
3	マラリア	1,344
2	バラチフス	25
6	猩紅熱	13
4	痘瘡	7
10	コレラ	0
	その他 計	588,225
	死亡総数	910,744

出典) 厚生労働統計協会「人口動態統計時系列データ（1899～2012年）」